

医療入門（全人的医療基礎講義含む）

責任者・コーディネーター	医学部第1学年副担任		
担当講座・学科（分野）	医学教育学分野、地域医療学分野、教養教育センター		
担当教員	祖父江 憲治 学長、佐々木 真理 医学部長、田島 克巳 教授、伊藤 智範 教授、川田 龍平 客員教授、相澤 純 特任講師、伊藤 達朗 非常勤講師、佐藤 元美 非常勤講師、会田 薫子 特別講師		
対象学年	1	区分・時間数	講義 7コマ 10.5時間
期間	通期		演習 0コマ 0.0時間
			実習 50コマ 75.0時間

・学習方針（講義概要等）

6年間にわたる医学教育のearly clinical exposureの第一段階として位置づけられる。臨床医学および医療の現場の一端にふれ、将来すぐれた医師になることを目指して努力するモチベーションを与える。 ■

・教育成果（アウトカム）

early clinical exposureの第一段階として、医療機関での医療・地域医療・医療行政・看護・介護の現場の一端にふれ、初歩的な救命処置を学習することで、医療のプロフェッショナリズムという概念を早期に学修し、医学生としての自覚を高めるとともに、これから学ぶ医学専門教育の重要性について説明できる。

（ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,5,6,7,8 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	医療・看護の現場を体験し、医療における医師・看護師の役割、チーム連携、責任体制について説明できる。
2	介護の現場を体験し、保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。
3	患者・介護施設入所者とのコミュニケーションを通じて、良好な人間関係を築くことができる。
4	介護施設入所者、高齢者に対する医療、社会保障の問題を考え、整理できる。
5	地域医療の現状の把握と問題点を抽出し、解決法を考察することにより、地域医療の実態を把握し、見識を深めその重要性和本質を説明できる。
6	初歩的な救急蘇生法を説明・実践できる。
7	プロフェッショナリズムとは何か、説明できる。
8	積極的に参加し、講義を傾聴することができる。
9	講義の内容を整理し、それに対する自分の意見を論理的に述べる事が出来る。
10	真の医療人に求められる人間性とはどのようなものか、自分の考えを具体的に説明できる。
11	自分がどのような医療人でありたいかを具体的にイメージし、分かりやすく説明できる。
12	建学の精神理解し、全人的医療人としての自己イメージを具体的に形成することができる。
13	薬害が発生するにいたる経緯を理解し、医療者の責任を説明できる。
14	エンドオブライフの医療的介入の問題点を列挙できる
15	人生の最終段階を生きる患者とその家族のQOLに配慮するようになる
16	医療におけるリスクベネフィットを説明できる

・講義場所

講義：東1-A講義室

実習：県内外の医療機関・保健福祉施設・行政機関等

・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
講義	5/1(金)	5	超高磁場MRI病態研究部門	佐々木 真理 教授	医学・医療の現況と展望	1
講義	5/8(金)	5	医学教育学分野	田島 克巳 特任教授	医療プロフェッショナルリズム講義	4,5
講義	5/11(月)	5	医学部	伊藤 達朗 非常勤講師	【特別講演】地域医療について1	7
講義	6/1(月)	5	医学部	佐藤 元美 非常勤講師	【特別講演】地域医療について2	5
実習	6/8(月)	3	医学教育学分野	相澤 純 特任講師	グループ13~24 医療学入門（BLS実習） 災害時地域医療支援教育センターで実施 (グループ1~12は細胞生物学I)	6
実習	6/8(月)	4	医学教育学分野	相澤 純 特任講師	グループ13~24 医療学入門（BLS実習） 災害時地域医療支援教育センターで実施 (グループ1~12は細胞生物学I)	6
講義	6/19(金)	4	学長	祖父江 憲治 学長	【全人的医療基礎講義】 学長講義	1,8,9,10,11,12
実習	6/24(水)	3	医学教育学分野	相澤 純 特任講師	グループ1~12 医療学入門（BLS実習） 災害時地域医療支援教育センターで実施 (グループ13~24は細胞生物学I)	6
実習	6/24(水)	4	医学教育学分野	相澤 純 特任講師	グループ1~12 医療学入門（BLS実習） 災害時地域医療支援教育センターで実施 (グループ13~24は細胞生物学I)	6
実習	7/21(火) ~ 7/22(水)	1 ~ 4		県内外の協力機関の指導者	医療体験実習	1,3,5
講義	9/18(金)	4	教養教育センター	川田 龍平 客員教授	【全人的医療基礎講義】 薬害を考える-いのちが守られる社会の実現のために-	8,9,10,11,13
実習	10/6(火)~ 10/15(木)	1 ~ 4		県内の協力機関の指導者	看護・介護体験実習	1,2,3,4
講義	10/23(金)	4	教養教育センター	会田 薫子 特別講師	【全人的医療基礎講義】 長寿社会のエンドオブライフ・ケア	8,9,10,11,14,15,16

実習	11/4(水)	1 ～ 5		県内外の協力機関の指導者	地域医療見学研修	1,5
実習	11/25(水)	3 ～ 5	医学部	教科課程部会長	地域医療見学研修 報告会	1,5

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
推薦図書	全人的医療入門－医療に関わるすべての人のために	中井吉英	中山書店	2013
参考書	医療格差	川田龍平	角川書店	2011
推薦図書	この国はなぜ被害者を守らないのか	川田龍平	PHP研究所	2013
推薦図書	沈みゆく大国アメリカ<逃げ切れ!日本の医療>	堤未果	集英社	2015
推薦図書	人はなぜ、同じ過ちを繰り返すのか?	佐治晴夫×堤未果	清流出版	2012
参考書	長寿時代の医療・ケア －エンドオブライフの論理と倫理－	会田薫子	筑摩書房	2019
参考書	延命医療と臨床現場 －人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学－	会田薫子	東京大学出版会	2011

・成績評価方法

・講義レポート	20% (うち全人的医療基礎講義レポート10%)
・医療体験実習	20%
・看護・介護体験実習	40%
・地域医療見学研修	20%

◎講義レポート
講義終了後に、講義で学んだ事等を800字のレポートをまとめてwebclassで提出する。
提出期限や対象講義については、別途掲示で周知する。

◎医療体験実習・地域医療見学研修の評価内容
①学習・発表会・ポートフォリオの提出・内容
②感想文提出・内容

◎看護・介護体験実習の評価内容
態度評価点
介護施設および看護部から提出された評価票の内容
※介護実習については、施設訪問教員による評価も含む。

実習内容等をまとめたポートフォリオやレポートを提出の都度評価し、学生にフィードバックを行い、学修を支援する。

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、実習室、心肺蘇生シミュレーター

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			